

## ■ ■ チャレンジデー 参加率は昨年を下回り、神奈川県山北町に敗北



スポーツによる住民の健康づくりを目的として、全国の自治体同士がスポーツ行事への住民の参加率を競う「チャレンジデー2016」（笹川スポーツ財団主催）が、5月25日に行われました。

今年で5回目の参加となった芦別市は、神奈川県山北町と対戦。市内では朝早くから、総合体育館などで

のラジオ体操会をはじめ、ウォーキングなどに市民の皆さんが参加しましたが、天候があまり良くなかったこともあり、参加者は5,244人、参加率は35.1%と昨年を下回り、山北町の59.6%には及びませんでした。

市はチャレンジデーのルールに従って、5月26日から1週間、同町の旗を市庁舎ポールに掲げました。

## ■ ■ 市内企業の外国人研修生らと市民が和やかに親善パーティー

5月26日、芦別市国際交流協会（中本純一会長）主催の国際交流親善パーティーが都会館で開催されました。

市内の企業で研修生として働く外国人と市民が交流しようと毎年開催されているもので、今年は日本ソレーシングで研修を行っているベトナム

人と北日本精機で研修している中国人のほか、北日本自動車大学校で自動車修理を学ぶチベットからの留学生2人も参加しました。

パーティーでは、研修生などが自己紹介したほか、バンド演奏なども行われ、和やかな雰囲気に包まれていました。



## ■ ■ 今年の新嘗祭に「芦別産米」献上へ 御田植祭が行われる



今年11月23日に皇居で行われる新嘗祭にいなめさいに献上する米の苗を植える「御田植祭おたうえさい」が6月1日、市内旭町の山本英幸さんの水田で行われました。

新嘗祭は、その年の収穫を感謝する毎年の宮中行事で、全国の選ばれた農家が育てた米を献上し、神前に供えられます。今年、北海

道内からは当別町と芦別市が選ばれ、芦別では初めてのことです。

当日は、山本梓さんほか、たきかわ農協の女性職員が早乙女姿となって、「ななつぼし」の苗を植えました。

山本さんは、「稲が病気にならないよう気を付けて、立派に育てたいです」と話していました。

## ■ ■ 立派に育ててネ「人権の花」 上芦別小学校で花の苗植える

法務省主催の「人権の花」運動が6月13日、上芦別小学校で行われました。

人権の花運動は、人権啓発活動の一環として、昭和57年度から全国で行われているもので、子どもたちが協力して草花を育てることを通して、生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を持って

もらうことを目的としています。

当日は、吉住英賢会長ら芦別地区人権擁護委員会委員と竹下一彦札幌法務局滝川支局長らが同校を訪れました。同校の前庭で、4年生14人が人権イメージキャラクターと一緒に、用意されたプランター10個にペゴニアとナススタウムの苗を丁寧に植えました。

